

総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問

【質問日】 令和7年3月4日（火）

【個人質問】

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
6	犬 井 美 香	1 文化財保護と観光について (1) 本市にある国・県・市それぞれの指定文化財の数は (2) 本市にある指定文化財の中で、観光資源として位置づけているものはどのようなものがあるか。 (3) 指定文化財の保護・保存に関して課題はあるか。 (4) 観光資源として位置づけられている指定文化財の保護・保存を市としてどのように考えているか。 (5) 現在「文化財保存活用地域計画」の策定中であるが、本市の文化財に対する考え方及び計画の方向性は 2 子育て関連のワンストップ窓口化について (1) 「こども家庭センター」設置後の相談件数は (2) 「こども家庭センター」設置後の市民の変化及び職員の変化は (3) 本市の「母子保健」と「児童福祉」の緊密な連携・協力の中で課題はあるか。 (4) 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の更なる体制の拡充・構築を市としてどのように捉えているか。 (5) 子育て関連のワンストップ窓口化、子育て支援総合拠点施設の必要性を感じるが、市長の考えは 3 スマートデジタル化の今後について (1) 令和6年度当初予算において挙げられていた様々なデジタル関連事業の進捗は (2) デジタル田園都市国家構想交付金を活用したマルチ医療DX事業は、一般社団法人鹿児島地域医療介護ネットワークを設立し強く推し進めてきたが、次年度から運用される「医療Ma a S」の開始をもって完了するが、今後の展開をどのように考えているか。 (3) 本年度、地域でのスマートフォン教室を開催したが、参加者数及び成果と課題は (4) デジタル地域通貨「つんP a y」の更なる拡充をどのように考えるか。 (5) スマートデジタル化による市民への効果をどのように考え、今後どのようにまちづくりに生かしていくかを示せ。
7	山 元 勉	1 平佐西地区が展開している「はんとけん体操」の今後の広がりについて (1) はんとけん体操への市の関わり及び実施件数等の現状は (2) 介護予防事業で行われている「わっはっは教室」への市の関わり及び実施件数等の現状は (3) わっはっは体操、はんとけん体操の対象者や内容は違うのか伺う。 (4) はんとけん体操の効果について伺う。 (5) はんとけん体操を平佐西地区及び地域おこし協力隊、本市社会福祉協議会と連携して事業を進めているが、その内容は

		(6) はんとけん体操を実施している近隣市町の関わり方について伺う。 (7) 市として、はんとけん体操を多くの方に広めるための支援や協力ができるか。 2 本市の文化観光推進政策について (1) 本市は文化観光推進のための計画は策定されているか。 (2) 芸術文化の振興について市の主な取組を伺う。 (3) 指定文化財の整備について市はどのように考えているか。 (4) 指定文化財等を活用した特別な体験であるユニークベニュー体験について、市で実施されたこれまでの事例紹介と今後、民間等が取り組む場合に助成するなどの考えがあるか伺う。 (5) 外国人観光客受入れの現状について伺う。 ア 本市の外国人観光客数は イ 外国人をターゲットにした主な政策を伺う。 (6) 文化観光推進のための組織体制の整備が必要ではないか。 3 再資源化の取組の推進について (1) 本市における食物残渣の再資源化の取組を伺う。 (2) その取組の最終的な目標を伺う。 (3) 本市における市道や農道での伐採した木や草の処分方法は (4) これからも出続ける木や草の堆肥化等の再資源化に向けて、民間と協同して取り組むことができないか。
8	森 永 靖 子	1 御陵下公園周辺の道路整備について ・ グラウンドでイベントがある時、道幅いっぱいには車が駐車し、他の車が通行できないので道路を拡幅できないか伺う。 2 御陵下公園の整備について ・ 公衆トイレ横の小さな公園を広げて、遊具、東屋、椅子等を増やす考えはないか伺う。 3 (仮称) 食のまち薩摩川内について (1) 川内のまちに着いたら何を食べようかと思う方に、オススメできる食事処があるか伺う。 (2) 地産地消の食材で、農家や漁業者の安定した収入や生活習慣病予防にもなるといった食のまちづくりについて、官民で取り組む考えはないか。 4 放課後児童クラブについて ・ 「保護者のいずれもが労働等により昼間家庭にいない」そのような場合に、放課後や夏休みなど長期休暇中に専門の支援員が適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的として設置したものである。 ア 本市で児童クラブの事務マニュアルを作成し各事業所に配布する考えはないか。 イ 一定の基本を示した後は、各事業所のオリジナルでやるという考え方はどうか伺う。 5 川内川市街地向田地区桜並木へのトイレ等の設置について ・ 向田4地区で河川堤防法面に桜の苗木を植えた。散歩コースであり、桜を見ながらジョギングをする人も多いため、トイレと東屋が必要との声が多いが、市として設置に取り組む考えはないか伺う。
9	山 平 達 也	1 道路整備について (1) 県道山田隈之城線（隈之城小前から隈之城交差点まで）、県道荒川川内線

		(限之城交差点から麓霧島踏切まで) について、道路整備の要望が過去にあったと認識しているが、現状と今後の見通しを伺う。 (2) 通称宮崎バイパスの残りの区間の見通しはどのようになっているか。 (3) 今後県に対する早期実現に向けた要望はどのように展開していくのか伺う。 2 通学路の安全対策について (1) 通学路交通安全プログラムとは、具体的にはどのようなものか。 (2) 薩摩川内市通学路安全推進会議の中の事業として、各地域の通学路危険箇所の実態把握を行うことになっているが、現状はどうなっているか。 (3) 同推進会議は事務局が招集し、原則年2回以上開催することとなっているが、現状はどうか。 3 市道の維持管理について (1) 除草の依頼が増加していると思うが、現状とその対応はどうなっているか。 (2) 側溝の維持管理はどうなっているか。また、側溝蓋の設置基準はあるのか。 (3) 維持管理業務の保守点検について、民間への委託は考えられないか。
10	小林 健	1 奨学金返還支援補助金について (1) 令和6年度の新旧制度それぞれの申請件数と予算に対しての遂行率は (2) 新制度で対象者を令和5年10月以降の正規雇用者としている理由は (3) 条件を緩和し、より多くの地元出身の若者を支援できないか。 2 少子化対策・子育て支援について (1) 令和6年6月議会における答弁について、女性に特化した雇用の研究の進捗状況は (2) 満3歳未満の保育料を減額し、若年層世帯を助ける検討ができないか。 3 交通インフラ整備について (1) 県道341号線(吉川川内線)での朝夕の交通渋滞解消策は (2) 高城産業用地へのアクセス道路について新設や改良の計画があるか。また、その計画は県道341号線渋滞解消につながるか。 4 広報について (1) 薩摩川内市公式LINE登録者数は令和6年3月には約1万7,000名の答弁であったが、1年経過した現在の登録者数は (2) 一般家庭への戸別受信機の設置数と世帯数に対する普及率は (3) 本庁が被災した場合のBCPがあるか、また、定期訓練は行われているか。 5 SDGs 先進度調査結果について (1) 評価点や順位に目標とするKPIを設定しているか。 (2) 各項目の評価結果に対しての今後の取組は